

百五十万ドルの支出を計上している。この費用は、次の目的に使われることになっている。

① 実用または試用のため企業に貸し出すおよそ六千台のテリドン端末器の製作。

② テリドン技術の向上、価格の引き下げ、応用範囲の拡大（例えば超LSIを使った低価格の端末器、字幕装置、二者間通信のハードウェアなど）のための研究開発。

③ 国内外における重要なテリドン・システム網（英仏両語によるカナダの全国放送テレテキスト・サービスマ

超LSIで小型化 価格引下げ

ごく近い将来、超LSI（超大規模集積回路）の利用によって、テリドン端末器の規模も価格もさらに縮小するはず。この第三世代の端末器は、第一世代、第二世代と比べてはるかに効率も良くなる。

超LSIを使ったマイクロ・プロセッサ（一ないし十個のシリコン基板—数ミリ四方に十万个から百万個のトランジスタが並ぶ）を組み込んだこの端末器は、ディスプレイ・モニターの中にとりつけられるほど小さいものになるという。

ど）に対する支援。

④ 市場開発、基準確立に対する支援。

⑤ 少数民族、障害者、消費者などの

グループによるテリドン利用の奨励。この追加投資について、フランシス・フォックス通信大臣は、「これは輸出市場で競争し得る、商業的に有望なビデオテックス産業をカナダで育成するためだ。

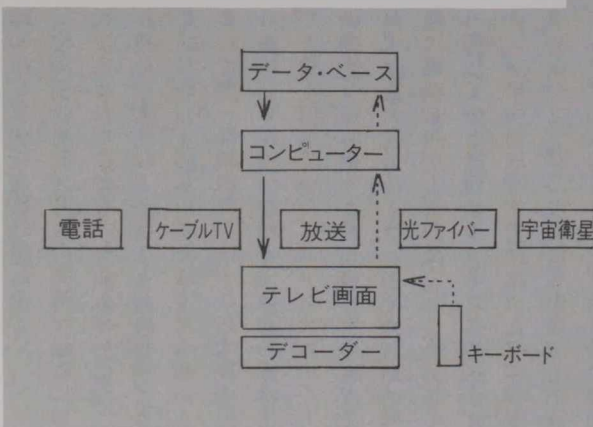
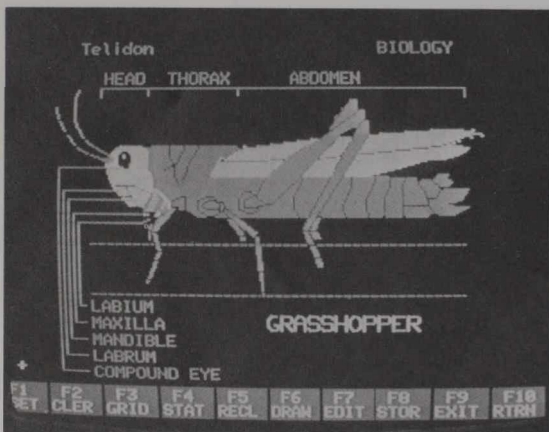
テリドンの操作法

テリドン・システムは、基本的に、選択ボタン装置（キーパッド）、テレビ・ディスプレイ装置、デコーダー（転換器）、通信伝送手段、そしてテリドン・データ・ベースを貯蔵するセントラル・コンピュータからなる。

ユーザーは、データ・ベースとの接触ができると、ボタンを押すだけでその中の—あるいは、理論的には接続したいくつもの他のテリドン・データ・ベースの中の情報を画面に引き出すことができる。

デコーダー（転換器）は、通常の、あるいは若干改造したテレビ（ディスプレイ装置）をビデオテックス・ディスプレイ装置に転換する。簡単に言えば、セントラル・データ・バンクから通信コード（符号）を受け取り、そのコードを画面に映し出すのに適した形に転換するのである。

この投資と業界の協力によって、一年以内に一万二千台以上のテリドン端末器が各方面で使用されることになろう」と語っている。テリドンの優秀性と官民の協力によって、テリドンを中心とする電子情報産業はカナダ経済の中で大きな位置を占めるものと期待されている。



トロントでビデオテックス展

北米初の国際ビデオテックス会議および展示会が、五月二十日から二十二日までトロントで開催された。昨年ロンドンで開催されたビデオデータ'80に続くこのビデオテックス'81では、カナダのテリドンをはじめ、英国のプレステルおよびシーファックス、フランスのテレルおよびアンティオーブといったビデオテックス・システム、それに個人用ビデオテックス・テレテキスト・システム、双方向ケーブル・テレビ、ビデオ・ディスクやマイクロ・コンピュータを使った端末器などが展示され、世界各国から集まった関係者は強い関心を示した。同時に行われた会議では、世界中の専門家たちが、ヨーロッパ、米国、カナダ、日本、南米などにおけるビデオテックスの技術開発について討論した。

テリドンに国際賞

人類が直面する諸問題に対処するための革新的な考え、大胆さ、勇気を示した組織や個人に贈られる国際的なトウ・シュ・ロス賞が、今年、カナダのテリドンに対して授与された。デザインがすぐれ、技術的に優秀だ、というのがその理由。

テリドン・システムは、英国、フランスの文字・図形通信システムと共に、国連の機関から国際基準として公認されている。